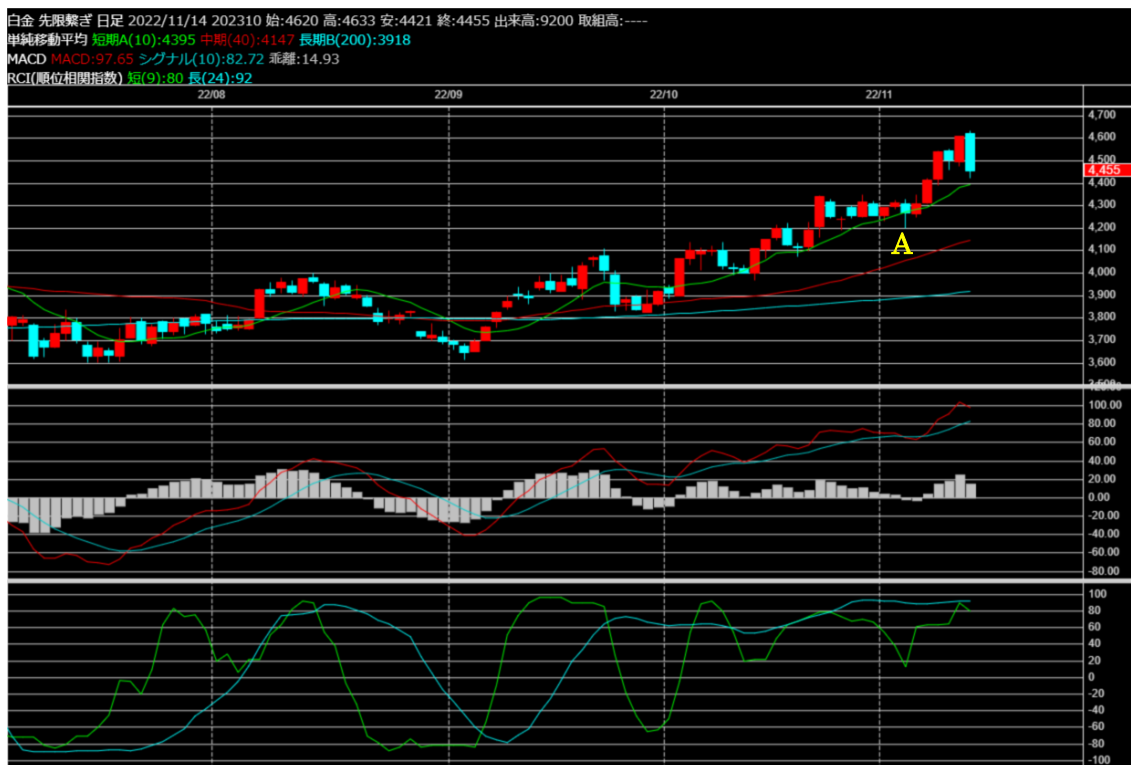


<白金標準先物、欧州委員会 2023 年 EU とユーロ圏成長率 0.2%・・・>



(出所：オアシス)

消費者物価指数（CPI）は、前月の前年比 8.2%を下回る 7.7%となり、12 月の FOMC では 5 回連続の 0.75%の利上げは後退し、0.5%の利上げ観測が強まっている。中国では中国国家衛生健康委員会は、中国に入る渡航者と濃厚接触者に適用される隔離期間の 10 日間を 8 日間に短縮し、今後は濃厚接触者の濃厚接触者は特定されないと発表するなど規制緩和の動きを見せている。そのため NY 白金がドル安を背景に 1074.1 ドルまで高値を試し、白金標準先物も 2021 年 2 月の高値 4524 円を超えて 4633 円まで上昇している。しかし欧州委員会は EU とユーロ圏の 2023 年経済成長率を 1.2%から 0.2%へ下方修正を発表、LME はロシア産金属の LME 指定倉庫の使用禁止処置を 3 週間の協議の末に否決している。

そのため週末には NY 白金の高値から 40 ドルの下落と為替市場の 138 円までの円高を受けて白金標準先物は 4633 円から 4421 円まで 212 円の下落を行うなど、4200 円（A）から 433 円の上昇を見せた価格は一夜にして 0.382 の調整を行っている。そのため今週は 4400 円を下回る値動きも予想され、目先の調整安に備えるのが妥当と思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD は **MACD** が下げだし、**シグナル**は上昇を示すなどヒストグラムの乖離幅が縮小している。RCI では**短期**が**長期**を超える事無く下げだしており、パターンから見ると弱気のサインと思える。ただ日足が上昇中の **10 日移動平均線**を下回る事無く推移しており、逆張りの値動きには注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 3,210,000 円(2022 年 11 月 14 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 37,620 円(2022 年 11 月 14 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>